

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。																	年 度		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
令和 年 月 日 那珂川町長 様			給 与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所 在 地		〒										特別徴収義務者 指 定 番 号								
				フリガナ												宛 名 番 号								
				氏名又は名称												担 連 当 絡 者 先	所 属							
																	氏 名							
給 与 所 得 者		個人番号 又は法人番号													←個人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載		電 話	内線 ()						
		フリガナ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)				(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)		異 動 年月日		異 動 の 事 由		異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法								
		氏 名																						
		生年月日		年 月 日				□ 月から □ 月まで		□ 月から □ 月まで		□ 年 □ 月 □ 日		□ 1. 退 職 2. 転 任 3. 休 職 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 (事由・理由)		□ 1. 特 別 徴 収 継 続 2. 一 括 徴 収 3. 普 通 徴 収 (本 人 納 付)								
		個人番号																						
		受給者番号						□ 月から □ 月まで		□ 月から □ 月まで		□ 年 □ 月 □ 日		□ 1. 退 職 2. 転 任 3. 休 職 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 (事由・理由)		□ 1. 特 別 徴 収 継 続 2. 一 括 徴 収 3. 普 通 徴 収 (本 人 納 付)								
		1月1日 現在の住所																						
異動後の 住 所						円		円		円		□ 1. 退 職 2. 転 任 3. 休 職 4. 死 亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他 (事由・理由)		□ 1. 特 別 徴 収 継 続 2. 一 括 徴 収 3. 普 通 徴 収 (本 人 納 付)										

新しい勤務先 (特別徴収義務者)	1. 特別徴収継続の場合														新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を				
	特別徴収義務者 指 定 番 号	新規 法人番号													月分（翌月10日納入期限分）から				
	所 在 地	〒													徴収し、納入するよう連絡済みです。				
	フリガナ																		
氏名又は名称														担当者連絡先 所属 氏名 電話	内線（ ）	受給者番号	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合				左記の一括徴収した税額は、	
理由	右から番号を記入	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年 1 月 1 日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	月分（翌月10日納入期限分）で 納入します。
			月 日	円	

理 由	3. 普通徴収の場合	※市区町村記入欄
	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため 3. 死亡による退職であるため 右から番号を記入	

御注意

1	黒のボールペン又はペンで記載してください。
2	「宛名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された宛名番号を記載してください。
3	給与の支払を受けなくなった者が、新し勤務先において特別徴収の継続を希望する場合には、「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄の枠内に「1」と記入するとともに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。
4	一月一日から四月三十日までの間に退職した者に未徴収税額がある場合は、一括徴収することが義務づけられています。